

i 留学 研修報告書

記入 | 2022年 3月

所属 | 経済学部 1年生

研修先大学 (国名)	Green International Technical College (フィリピン)
研修プログラム名	グローバルリーダープログラム
研修期間	2月21日(月)~3月4日(金) 2週間

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手續、語学対策など)

・応募のきっかけ

前回参加した GCFL 以降に培った英語力を試すとともに、さらなる英語能力の向上を目指すため。また、途上国開発に関心があるため、プログラムの一つである NGO 団体の職員へのインタビューや貧困地域へのバーチャルツアーなどを通して、将来の目標を明確にし、目標を達成するのに役立てるため。

・申込手續き

1. プログラム概要の確認
2. 履修願の提出 (WEB 登録)
3. 応募書類の提出

・語学対策

毎日決まった時間に英語の勉強をするとともに、空いた時間はなるべく英語の動画を見ることでリスニング力を鍛えていた。また、今回は毎日 SDGs の授業があるため、SDGs について英語でまとめながら、関連する語句を調べて覚えていた。

2. 研修内容 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

・内容

1, 2 時間目は教材を用いた英語の授業、3 時間目はフィリピンにおける SDGs の授業、4 時間目はグループディスカッションなど

・時間数

毎週月曜日から金曜日の9時から13時までの授業

・形態

オンライン

・授業の感想

今回のオンラインプログラムはグループディスカッション以外マンツーマンでの授業だったため、英語力、主にスピーキング力が向上したように思われる。特に英語でのクイックレスポンス力が、この2週間の授業の中で向上したと感じる。また、授業ごとに授業レポートとフィードバック、ライティングのお題をもらえるため、授業の復習もしやすかった。

・学生同士の交流

毎日のグループディスカッションで日本人学生と意見を交わしたり、国際交流の授業で GITC の学生にフィリピンについて教えてもらったりしていた。

3. 環境（オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど）

・オンライン履修環境

自分の家はオンライン履修環境が整っていたため問題はなかったが、フィリピンではたまに停電が起こり、GITC 側の接続が悪かったり、1 回授業が延期になったりした。

・時差と健康管理

時差は 1 時間しかないため特に問題はなかった。また、健康管理についても問題はなかった。

4. 研修を終えて感じる事 & 研修申込を考えている学生へのメッセージ

・何十人と一緒に受ける授業形式であった前回のオンライン留学と比べて、今回のオンライン留学はマンツーマンであったため、前回とは異なった効果が得られたように感じる。前は授業形式であったため、英語力もちろん向上したが、どちらかというグループディスカッションなどでの積極性のほうが大きく向上したように感じた。一方で、今回はマンツーマンであったため、英語でのクイックレスポンス力や間のつなぎ方といった面が大きく向上したように感じた。

・今回のオンライン留学では、NGO 団体の職員やフィリピンの学生との交流やグループディスカッションで、前回のオンライン留学で得られた積極性を活かして交流ができたため、より良いオンライン留学にすることができたと思う。

・今回のオンライン留学はマンツーマンの授業であったため、使いたいフレーズが使いやすいなど日々の復習の効果がしやすい一方で、前回のオンライン留学よりも、授業外の英語の勉強次第でオンライン留学の効果をより大きくしやすいと感じた。もちろんただ授業を受けるだけでも英語力は向上するだろうが、どのオンライン留学でもそれを活かすかどうかは本人の努力次第だと思う。

・研修申込を考えている学生に言えるのは、やはり休みの間に何もしないというよりは、オンライン留学といった機会を利用して自分のスキルアップを目指したほうが良いということだと思う。さらにアドバイスをするならば、上記したように、オンライン留学は自分の努力次第でどこまでもその効果を大きくできると感じるのので、参加すると決めたらオンライン留学が始まる前や授業外で自主的に勉強することをお勧めする。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	60,000 円	
その他（通信費など）	0 円	

奨学金・協定校割引	30,000 円	
計	30,000 円	

6. 自由記述欄 *おすすめ情報や研修エピソードなど書いてください。写真や資料添付も歓迎します。

マンツーマンの授業のため、先生と雑談することもできるのでフィリピンの現状とかも聞いて楽しかったです。また、SDGsの授業ではフィリピンで起こった災害や政策、現状などについて実際にフィリピンの先生からお話を聞けるので、途上国に関心がある人に合った授業だと思います。

i 留学 研修報告書

記入 | 2022 年 3 月
所属 | 文学部 2 年生

研修先大学 (国名)	GITC (フィリピン)
研修プログラム名	グローバルリーダープログラム in フィリピン
研修期間	2022 年 2 月 21 日~2022 年 3 月 4 日

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

応募のきっかけは、長期休みにしっかりと英語を学びたいと思ったからである。特に、今まで英語での会話をする機会があまりなく、もっと英語のスキルを向上させたいと思っていたため、i 留学に参加しようと思った。また、長期休みに新しいことに挑戦する機会としても有効だと思った。

名古屋大学 i 留学支援制度を用いて申込みを行った。

2. 研修内容 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

研修として、毎日 50 分×4 コマの授業を行った。内容は、主にスピーキング・リーディングスキルを上げるためのストーリーを用いた授業、SDGs に関するディスカッション、グループセッションがメインであった。また、プレゼンや、GITC の学生と交流する機会もあった。

形態としては、基本個人レッスンで、1 日に 1 コマグループセッションがあった。そこで、学生同士での交流が行われた。トピックとしても多様であったため、学生同士でユニークな意見を交流できたのは面白かった。

授業を通して、自分の意見を伝えるまで伝えようとする力がついた。これまでは、曖昧にしていた理解も、しっかりと言い換え表現や聞き返し表現を用いることで、分かるまで学ぶことができた。また、社会問題というトピックでも、しっかりと自分の言葉で意見を述べることもできた。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

基本的に、大学のオンライン授業が受けられるような設備なら問題ない。しかし、フィリピン側のネットワークが悪くなるが多かったため、その時は冷静に対応する必要がある。

4. 研修を終えて感じる事 & 研修申込を考えている学生へのメッセージ

長期休みに自分の夢を叶える一つの選択肢として、i 留学を選ぶことも検討すると良いと思う。ここでの経験は、今後も必ず役立つと思う。

今回の研修は、トピックも幅広く、英語と触れる時間が多く確保されているため、渡航が難しい環境でも、前に進もうとしている学生には特にお勧めしたい。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	60,000 円	
その他（通信費など）	円	
奨学金・協定校割引	30,000 円	
計	30,000 円	

6. 自由記述欄

日本の文化に興味がある先生が多いため、日本の文化（特に漫画やアニメについて）自分の言葉で話ができるようにしておくと思える。

i 留学 研修報告書

記入 | 2022 年 3 月

所属 | 文学部 1 年生

研修先大学 (国名)	GITC (Green International Technological College) フィリピン
研修プログラム名	グローバルリーダープログラム in フィリピン
研修期間	2/21~3/4

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

2 週間という短い期間の中で、マンツーマンによる英語学習、グループレッスン、SDGs の学習、英語のプレゼンテーション、フィリピンの文化学習という多様なプログラムに参加できることにひかれて応募しました。海外留学室のホームページから募集要項を読み、申込書をダウンロードし記入しました。事前準備としては事前授業に参加し、SDGs に関する書籍を一冊読みレポートを書きました。マンツーマンでの English Study が行われるということで、英語に関して特別に学習はせず、今の自分の英語の実力で臨むというスタンスでいきました。ただ、毎日 TED を見ていたのでその習慣は続けていました。

2. 研修内容 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

1 日に 4 時間あり、全て zoom を使って行われました。1 時間あたり 50 分授業で、10 分の休憩があり、午前中には終わりました。そのうちの 2 時間はマンツーマンでの英語学習、1 時間はマンツーマンでの SDGs 学習、1 時間はグループレッスンでした。マンツーマンでの英語学習では、フィリピン人の先生と全編英語で授業が展開されました。1 つの短めの物語を音読し、新しい単語を学び、それを使った例文を即興で作りました。その後、その物語に関する質問に英語で答え、自分に関する質問にも英語で答えました。SDGs の学習では、毎回 1 つのゴールに関する文章を音読し、新しい単語を学びました。その後、そのゴールに関する質問 (「日本ではどのような環境問題があるか」など) に英語で答えました。グループレッスンでは、10 回中 7 回は 5 人の生徒と 1 人のフィリピンの先生で授業が進められました。英語で話すことに慣れるために、自分に関する質問に英語で答えるなどのアイスブレイクが行われました。10 回中 2 回は現地の学生の方からフィリピンに関するプレゼンテーションを聞いたり、現地の NGO 団体から SDGs に関する現状を交流形式で聞いたりしました。最終日の 1 回は自分に関するプレゼンテーションを作り、同じグループの子に発表しました。

初めは英語で話すことに躊躇いや緊張がありました。しかし、最初の 3 時間はマンツーマンで行われたので自分のペースで英語に慣れていくことができました。先生も私が理解するまで何度も説明してくださったり、時には翻訳サイトで日本語に翻訳してくださったりしたので、質問しやすかったです。グループレッスンでは、他の学生の方や先生が自分の発言に対

でリアクションしてくれたので、とても暖かい雰囲気だと感じました。毎日 4 時間の授業を 2 週間行うのは大変だと感じる時もあったけど、2 週間行ったからこそ最後の方には英語で話す躊躇いや緊張が消えていきました。また、自分の気持ちを言葉にする大切さや分からないことは分からないという大切さを学びました。ある授業で、「私は今このような状況だということをお伝えたいけど、それにあつた単語が分からない。だから教えて欲しい。」と素直に自分の気持ち、分からないということをお伝えしてみました。すると先生が意図を汲み取ってくださりそれに合う言葉を教えてくれました。この時、英語をうまく話せなくても自分の気持ちを伝えられることに感動しました。今回学んだこれらのことは、英語を使うときだけでなく日常生活でのコミュニケーションでも大切なことだと感じます。そのため、このプログラムを受けて本当に良かったと思いました。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

全て zoom で行われたので自宅の Wi-Fi 環境は整えておく必要があります。また、プレゼンテーションがあつたのでパソコンで受けた方がいいと思います。4 時間画面を見続けることになるので、休憩時間にストレッチをしたり、ブルーライトカットメガネをかけるなどして体が苦にならないように気をつけました。現地との時差は 1 時間で、日本の方が早かったです。自宅なのでイヤホンはなくても授業を受けることはできますが、個人的にイヤホンをした方が集中しやすかつたので準備しておいて良かったです。また、全ての授業が英語で行われたのでそれなりのリスニング力があると感じます。普段からリスニング練習をする習慣があつたので、それが役に立つたと思いました。

4. 研修を終えて感じること & 研修申込を考えている学生へのメッセージ

私は留学に興味があつたけど、いきなり海外渡航をする勇気はありませんでした。なので、i 留学を経験できて良かったと思います。英語でコミュニケーションするとはどういうことかイメージすることができ、留学に向けた一歩だと感じるからです。来年度からも英語学習を続けて、いつか留学したいと前向きに思えるようになりました。なので、もし迷っている方がいればぜひ受けた方がいいと思います。沢山の大切なことを学ぶいい機会になると思います。うまく話せなくても大丈夫です。実際私も全くうまく話せなかつたし、最終日のプレゼンテーションでは緊張しすぎて大失敗しました。しかし、先生や他の学生の方々が優しくかつたので乗り切ることができ、失敗することが怖くなくなりました。また先程の研修内容の欄でも書きましたが、今回のプログラムで学んだことは日常生活でのコミュニケーションでも大切なことだと思っています。私のようにうまく話せなくても、失敗したと感じたとしても、次につながる何かを得られるはずですよ。なので、ぜひ研修を受けてみてください。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

授業料（教材費含）	60,000（研修前に支払 う必要がある）円	
その他（通信費など）	円	
奨学金・協定校割引	30,000（研修後支払わ れる）円	
計	30,000 円	

6. 自由記述欄 *おすすめ情報や研修エピソードなど書いてください。写真や資料添付も歓迎します。

